

Gakushuin Music Society Orchestra

54th Regular Concert

PI.チャイコフスキー

幻想序曲

『ロメオとジュリエット』

A.ボロディン

歌劇 イーゴリ公より

『だったん人の踊り』



A.ドヴォルザーク

交響曲第7番 ニ短調

指揮 藤岡 幸夫

2015年5月24日(日)

東京芸術劇場 コンサートホール

開場 13:00 / 開演 14:00

全席指定席 [前売] 500 円 [当日] 1000 円

チケット取扱い: チケットぴあ Pコード: 256-749

東京芸術劇場ボックスオフィス ・0570-010-296

お問い合わせ: 管弦楽団責任者 佐藤 勝彦

・090-2551-8250/E メール: 13033059@gakushuin.ac.jp

音楽部公式ホームページ: <http://ghongakubu.at-ninja.jp/>

右記 QR コードからもアクセスいただけます

※未就学児の入場はご遠慮ください



【アクセス】

JR・東京メトロ・東武東上線・

西武池袋線 池袋駅西口より徒歩2分。

駅地下通路 2b 出口と直結しています。

東京芸術劇場

〒171-0021 東京都豊島区西池袋 1-8-1

指揮：藤岡 幸夫

Sachio FUJIOKA, conductor

関西フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者

Principal Conductor of the Kansai Philharmonic Orchestra



1962年東京生まれ。幼少よりピアノ、チェロを学ぶ。故・渡邊暁雄の最後の愛弟子。サー・ゲオルグ・ショルティのアシスタントを務める。慶応義塾大学文学部卒業。日本フィル

指揮研究員を経て1990年に英国王立ノーザン音楽大学指揮科に入学。在学中は奨学金特待生に選ばれる他、数多くの賞を受賞。1992年マンチェスターにて最も才能ある若手指揮者に贈られる「サー・チャールズ・グローヴス記念奨学賞」を日本人にもかかわらず特例で受賞。同年ルトスワフスキ・フェスティバルにて作曲者の前で「管弦楽のための協奏曲」を指揮、英ガーディアン紙に「計りしれなく将来を約束された指揮者」と絶賛される。1993年BBCフィルの定期演奏会に出演し「タイムズ」紙などで高く評価され1994年に同オーケストラの副指揮者に就任。同年、ロンドン夏の風物詩「プロムス」に同オーケストラを指揮してデビュー、大成功を収める。以後ロイヤル・フィル、ロイヤル・リヴァプール・フィルをはじめ、数多くの海外オーケストラに客演。スペイン・オペラ公演デビューとなった2006年スペイン国立オヴィエド歌劇場「ねじの回転」は、その年当劇場の新演出オペラのベスト・パフォーマンス・オブ・ザ・イヤーに選ばれ、2009年には同劇場に「ナクソス島のアリアドネ」で再客演、ふたたび大成功を収めた。マンチェスター室内管弦楽団首席指揮者、日本フィル指揮者を歴任し、関西フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者を務める。毎年40公演以上を共演する同楽団とは2014年で15年目のシーズンとなり、一体感溢れる演奏は聴衆を魅了し、高い評価を得ている。英シヤンドスと契約し、これまでにBBCフィルと8枚のCDをリリース。また関西フィルとはALM RECORDSにシベリウス交響曲全曲録音を進行中。大海日のテレビ東京系全国ネット「東急ジルベスター・コンサート」に2回、2012年NHK大河ドラマ「平清盛」の劇中音楽の指揮をはじめ、テレビ、ラジオへの出演など広く活躍する。クラシック音楽界のファンを増やしたいと、BSジャパンの新番組「エンター・ザ・ミュージック」に2014年10月より参画し、指揮・司会者として、関西フィルと共に出演する。

2002年渡邊暁雄音楽基金音楽賞受賞。

公式ファンサイト <http://www.fujioka-sachio.com/>

学習院輔仁会音楽部管弦楽団 Gakushuin Music Society Orchestra

学習院輔仁会音楽部管弦楽団は1922年の創立以来、その伝統を受け継ぎながら演奏活動を続けて参りました。メンバーは学習院大学・学習院女子大学の学生によって構成されており、総団員数は約150名に上ります。毎年春にはオーケストラを中心とした管弦楽団定期演奏会、秋には学習院輔仁会音楽部合唱団と合同の定期演奏会を行い、この他に新入生演奏会や卒業演奏会を含めた年4回の主催公演を主な活動としています。

また、学習院大学・学習院女子大学・学習院中等科の入学式や卒業式における演奏、商業施設での演奏など、様々な依頼演奏も行っています。楽器経験の有無に関わらず一流のトレーナーの先生方から御指導頂ける環境の下、楽団員の仲間達1人1人が一体感を持って互いに切磋琢磨しながら一つの音楽を創っています。楽団員は音楽に対して情熱を持ち、自分たちの熱意を音に乗せ、誰もが楽しめる演奏会を創り上げるために、人生一度の大学時代を懸けて演奏会に向かって日々努力しています。是非、幅広い方々に演奏会へ足を運んで頂き、演奏を楽しんで頂ければ幸いです。